

2020年7月21日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 新規採用医薬品

コレクチム軟膏 0.5% (皮膚科) 【院外限定】

薬効： 外用ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤

申請理由： JAK/STAT 経路を活性化するすべてのサイトカインシグナル伝達を阻害することでアトピー性皮膚炎の症状を改善する世界初の外用 JAK 阻害剤。顔などのステロイド外用剤を使用しにくい皮疹に予定。

採用中止薬剤： なし

ソリクア配合注ソロスター (糖尿病センター) 【院外限定】

薬効： 持効型溶解インスリンアナログ製剤/GLP-1 受容体作動薬

申請理由： 持効型インスリン (グラルギン) と GLP-1 受容体作動薬 (リキシセチド) の配合剤。持効型インスリン単独に比べ HbA1c、食後 2 時間血糖改善効果に優れ、低血糖リスク低減し、体重増加が少ない。また患者アドヒアランスも改善。

採用中止薬剤： なし

エンレスト錠 100mg (心不全センター)

薬効： アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬 (ARNI)

申請理由： 慢性心不全に対する標準的治療をしている低心機能患者に対して、RAS 阻害薬より変更することにより、生命予後の改善が示された薬剤であり再入院を含めた有効性が期待できる。

採用中止薬剤： パナルジン錠

アイリーア硝子体内注射用キット 40mg/mL (アイセンター)

薬効： 眼科用 VEGF 阻害剤

申請理由： アフリベルセプト硝子体内注射液のシリンジ製剤。従来のバイヤル製剤と比較しシリンジへの薬剤吸い出し家庭がなくなることで簡便かつ感染リスクが低減する。

採用中止薬剤： アイリーア硝子体内注射液

ベオビュ硝子体内注射用キット 120mg/mL (アイセンター)

薬効： 眼科用 VEGF 阻害剤

申請理由： 中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性 (AMD) は加齢に伴う網膜黄斑部の変性疾患で、重度の視力低下を示す難治性眼疾患である。これまでの VEGF 阻害剤よりも長い投与間隔や観察頻度で視力を改善し、その改善効果の長期維持が期待できる。

採用中止薬剤： なし

② 後発品変更について

後発品が年に2回、発売されるため、継続的な後発品の変更が必要

先発名	薬価	後発名	薬価
フォルテオ皮下注キット600 μ g	36555	テリパラチドBS皮下注キット600 μ g「モチダ」	25643
セレコックス錠100mg	69	セレコキシブ錠100mg 「DSEP」	19.6
メモリーOD錠10mg	240.1	メマンチン塩酸塩 OD 錠 10mg「日医工」	91.5
ゼチーア錠 10mg	173.2	エゼチミブ錠 10mg「サンド」	63.1
アボルブカプセル0.5mg	214	デュタステリド錠 0.5mgAV「DSEP」	59.3
トラバタンズ点眼液0.004%	737.6	トラボプロスト点眼液 0.004%「ニットー」	363.5
リンデロン点眼点耳点鼻液0.1%	63.6	リノロサル眼科耳鼻科用液0.1%	20.8

※これまでどおり、外来での処方先発品での対応もできるようにします。

以上